



壁を耐震改修補強した事例

簡易耐震診断の結果、総合評点が0.60のため、『倒壊または大破壊の危険があります』となり、総合評点を1.37にする耐震改修補強工事を実施した事例。

(*工法により施工方法は異なります。)

- 建築年度：昭和34年度
- 改修年度：平成25年度
- 構造/階数：木造1階建
- 延べ面積：約97㎡
- 改修費用：約170万円（消費税込）
- 工事内容の概要
 - 壁耐震補強数 : 8箇所
 - 基礎補強数 : 4箇所
 - 柱金物等補強数 : 14箇所

備考

—

総合評点

木造住宅の簡易耐震診断は、地盤・基礎、建物形状、壁の配置（偏心）、筋違、壁の割合（壁量）、老朽度の各項目についてそれぞれの状況により評点をつけた上で、各評点を掛け合わせて総合評点を求めます。総合評点と判定の関係は以下のとおりです。

総合評点	判定
1.5以上	安全です
1.0以上1.5未満	一応安全です
0.7以上1.0未満	やや危険です
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

耐震改修工事前の状況	工事順番①	耐震改修工事中の状況	工事順番④
	<p>改修概要 室内からの撮影状況</p> <p>耐震補強が必要な壁2面について、耐震補強工事を実施</p> <p>家具などは工事する範囲から移動して工事实施</p>		<p>改修概要 室内からの撮影状況</p> <p>工事範囲以外については、フィルムで養生して工事を実施（養生方法は事例）</p>
耐震改修工事中の状況	工事順番②	耐震改修工事中の状況	工事順番⑤
	<p>改修概要 室内からの撮影状況</p> <p>筋違の取り付けによる壁の耐震補強</p> <p>耐震壁下地を設置</p>		<p>改修概要 室内からの撮影状況</p> <p>壁に耐震ボードを設置</p>
耐震改修工事中の状況	工事順番③	耐震改修工事完了の状況	工事順番⑥
	<p>改修概要 室内からの撮影状況</p> <p>耐震補強金物設置状況</p>		<p>改修概要 工事完了後室内からの撮影状況</p> <p>耐震改修工事完了</p>